

目次	社長ごあいさつ	特集	企業理念とCSR	環境への取り組み
安全・安心の取り組み	社会変化への対応	地域社会への貢献	人材資源の活用	管理体制の整備

# 地域社会への貢献

## 地域との共生

### 方針・考え方

東京建物グループでは、さまざまなコミュニティ活動・ボランティア活動を通じた地域の価値向上は、地域の発展のみならず、自社の事業の持続的な発展にもつながると考えています。  
そのため、不動産を保有・管理している八重洲・日本橋・

京橋等の地域において、グループ内から参加者を募り、街の清掃活動や地域活性化のためのイベント運営等、さまざまなコミュニティ活動・ボランティア活動を行い、地域の価値向上に取り組んでいます。

### 八重洲・日本橋・京橋でのまちづくり活動実績

#### 主なまちづくり活動実績一覧(2018年1月～12月)

イベント名	活動(貢献)内容	グループ社員の参加人数
山王祭	日本三大祭り「山王祭」神輿担ぎ手(6/8～10)	3日間 計656名
さくら祭り	ラグビーイベント・その他イベント実施(4/6～8)	3日間 計25名
東京駅前清掃隊	東京駅周辺の清掃活動(東京建物まちづくり推進室による自主取り組み、2/23、4/20、9/28)	3日間 計531名
中央通りクリーンウォーク (ゴミ拾い・花の植え替え)	中央通り花壇のゴミ拾い・花の植え替え (事務局スタッフとしても参加、3/22、7/19、12/12)	3日間 計55名
ラ・フォル・ジュルネ TOKYO2018	「東京スクエアガーデン」にてエリアコンサート開催(5/3、4)	2日間 計8名
東京エキマチキラピカ作戦	東京駅周辺の清掃活動(7/19、11/29)	2日間 計297名
日本橋・京橋祭り	特別協賛、実行委員会スタッフ、ラグビーチームの結成(10/28)	1日間 計11名
アート&クラフト市	「東京スクエアガーデン」でのイベント開催(毎月1回)	12日間 計24名

### クリーン活動の実施

東京建物グループでは、東京建物本社ビルの位置する八重洲・日本橋・京橋地域をはじめとする複数の地域において、街の美化のため、業務開始前の時間等を活用し、清掃活動を定期的に行っています。その活動が評価され、日本橋清掃事業協会から感謝状をいただきました。



朝の清掃活動の様子

目次	社長ごあいさつ	特集	企業理念とCSR	環境への取組み
安全・安心の取組み	社会変化への対応	地域社会への貢献	人材資源の活用	管理体制の整備

## 日本三大祭り「山王祭」への参加

東京建物グループは、東京建物本社所在地域の大切な行事である「山王祭」に積極的に参加し、伝統文化の継承に努めています。「山王祭」は天下祭と謳われ、大阪天神祭や京都祇園祭とともに、日本三大祭りに数えられています。神輿12基が八重洲・日本橋・京橋地域等を練り歩く下町連合渡御には、多くのグループ従業員が参加し、神輿担ぎをはじめ地元町内会の方々と一緒にお祭りを盛り上げています。

CSRサイト 特集 東京建物のまちづくり活動(2017年公開)  
[www.tatemono.com/csr/special/townplanning.html](http://www.tatemono.com/csr/special/townplanning.html)



山王祭の様子

## NPO法人との協業

東京建物では、NPO法人はな街道の事務局の一員として、中央通りの歩道上の花壇の管理を支援しています。また、NPO法人中央区森の応援団と協業し、同法人の活動拠点である中央区の森の間伐材の利活用にも協力しています。間伐材でプランターカバーを作製し、NPO法人はな街道を通じて、建設現場の歩道上に約100台設置するなど、街の美化に貢献しています。



中央通りの花壇の植え替えの様子

目次	社長ごあいさつ	特集	企業理念とCSR	環境への取組み
安全・安心の取組み	社会変化への対応	地域社会への貢献	人材資源の活用	管理体制の整備

## 地域のにぎわい創出

東京建物グループでは、地域の発展に貢献するために、にぎわい創出につながるさまざまなイベントを開催しています。「中野セントラルパーク」では、隣接大学や行政と共に一体的に整備した約3haもの緑豊かなオープンスペース（公共空地等）を利用して、年間を通じてフリーマーケットやワークショップ等のイベントを多数開催しています。オープンスペースを効果的に利用してにぎわいをもたらすこの取組みは、2014年に「グッドデザイン賞 地域づくり、コミュニティづくり部門」を受賞しました。

「東京スクエアガーデン」では、1階の貫通路を利用して、新鮮野菜や加工食品を販売する「京橋マルシェ」を2018年8月から定期開催しています。

「Brillia Towers 目黒」では、再開発組合主催の街びらきイベント「目黒花房山フォレスト2018」の開催を提案し、東京建物グループも起案者として協賛およびブースを出店しました。



「目黒花房山フォレスト2018」での東京建物ブースは大人も子どもも楽しめる「輪投げ」を出店しました

## これから住む地域とのコミュニティづくり

2018年10月に現地モデルルームをオープンした「Brillia 品川南大井」では、本マンションの建設に先立ち、本マンション購入予定の皆様が早めに地域の皆様と「つながる」ことを目指して、販売センター内に、周辺地域の皆様も使用可能な「地域コミュニティ施設 Loco-café “oooi”」を併設しました。地元の皆様との接点を増やし、本マンション購入予定の皆様との交流を促すイベント等を行っているほか、地域の皆様の交流スペースとしても貸し出しています。

これにより、地域の皆様同士の交流促進はもとより、本マンション購入予定の皆様と地域の皆様とのスムーズな早期コミュニティ形成を支援します。



Loco-café “oooi” 内観

目次	社長ごあいさつ	特集	企業理念とCSR	環境への取り組み
安全・安心の取り組み	社会変化への対応	<b>地域社会への貢献</b>	人材資源の活用	管理体制の整備

## 文化・社会貢献活動

### 方針・考え方

東京建物グループでは、さまざまな文化・社会貢献活動を通じた豊かな社会の実現は、自社の事業の持続的な発展につながると考えています。

そのため、文化・芸術活動、教育支援、スポーツ振興、災

害復興支援等、さまざまな社会貢献活動を行っています。地域社会の一員として、まちづくり、コミュニティづくりに取り組むとともに、「豊かな社会づくり」に貢献します。

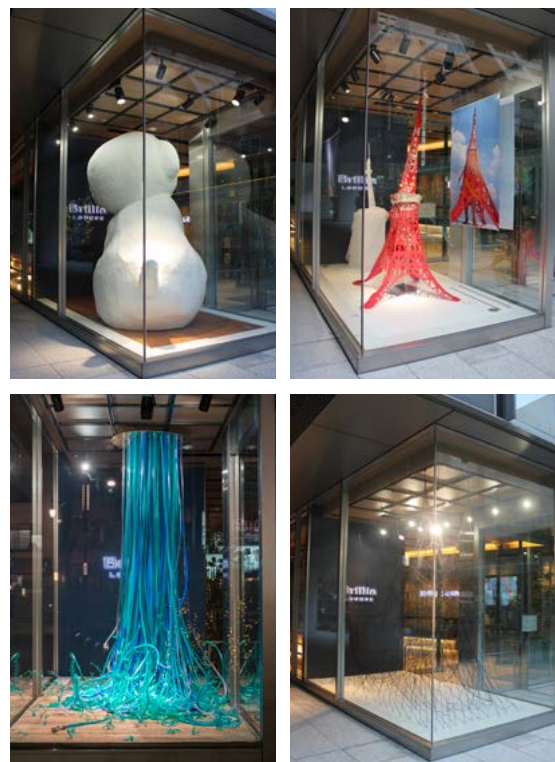
### Brillia LOUNGE 「THE GALLERY」でのアーティスト支援

東京建物は、アートやスポーツ等、さまざまな文化活動に対して支援を行っています。活動の一環として、2017年から、東京建物八重洲ビルの1階にある「Brillia LOUNGE」の一角に設けた展示スペース「THE GALLERY」を、新進気鋭の芸術家やその作品を紹介する場として、運営しています。2018年も、4組のアーティストの作品を紹介しました。また、翌年に紹介するアーティストを公募で決める「Brillia ART AWARD 2019」を開催しました。このアワードでは、完成した作品そのものでなく、制作プランを評価します。入選者には制作補助金20万円、そのうち大賞受賞者には別途賞金30万円を提供し、制作された作品を2019年中に順次、約3ヶ月間ごとに入れ替え、展示します。

**Brillia LOUNGE 「THE GALLERY」および「Brillia ART AWARD」の情報は**  
[こちら](#)

[brillia.com/brillia/topics/](http://brillia.com/brillia/topics/)

[brillia.com/artaward/](http://brillia.com/artaward/)



2018年に紹介したアーティストの作品

目次	社長ごあいさつ	特集	企業理念とCSR	環境への取組み
安全・安心の取組み	社会変化への対応	地域社会への貢献	人材資源の活用	管理体制の整備

## 持続可能なまちづくりを支える拠点の開設

東京建物が保有・管理する「東京スクエアガーデン」の6階には、「京橋環境ステーション」という都市の低炭素化を進めるための拠点施設があります。この京橋環境ステーションでは、環境技術の展示を行うとともに、環境とまちづくりに関するセミナーなどを開催しています。

また、2018年12月には一部を改装して持続可能なまちづくりの拠点「シティラボ東京」をオープンしました。コワーキングスペースとカンファレンスルームとしての機能を持ち、スタートアップコミュニティ形成や事業創出に貢献します。

→ 特集 「学び・つながり・動く『場』づくりから広がる“まちづくり”」 [P.5](#) もご覧ください



「シティラボ東京」コワーキングスペース

詳細は「シティラボ東京」

公式Webサイト [citylabtokyo.jp/](http://citylabtokyo.jp/)

公式フェイスブックページ

[ja-jp.facebook.com/citylabtokyo/](https://ja-jp.facebook.com/citylabtokyo/)

## 障がい者スポーツの支援

東京建物は、社会貢献活動の一環として、2015年8月から公益社団法人日本障がい者スポーツ協会（JPSA）のオフィシャルパートナーを務めています。

障がい者スポーツの理念である「活力ある共生社会の創造」実現の一助となるべく、障がい者スポーツの普及啓発活動等を通じて、障がい者スポーツを積極的に応援しています。2018年はグループ内に向けて競技や大会情報を発信して観戦を促し、より多くの社員が大会を観戦・応援することで、障がい者スポーツへの認識を新たにしました。

また、2016年12月にオープンした、陸上競技施設「新豊洲 Brillia ランニングスタジアム」のネーミングライツを取得し、施設運営に協力しています。「新豊洲 Brillia ランニングスタジアム」では、競技用義足開発ラボラトリーが併設され、障がい者も健常者も一緒になってトレーニングが行えます。



社員有志が集まって大会観戦



日本障がい者スポーツ協会オフィシャルパートナー



「新豊洲 Brillia ランニングスタジアム」

目次	社長ごあいさつ	特集	企業理念とCSR	環境への取組み
安全・安心の取組み	社会変化への対応	地域社会への貢献	人材資源の活用	管理体制の整備

## 米づくりを通じた震災復興支援

東京建物グループは、東日本大震災からの復興および都市と農村の交流を通じた豊かな社会づくりを目指し、福島県天栄村の特産品「天栄米」の米づくり活動を支援しています。2016年まで保有していた「羽鳥湖高原レジーナの森」が天栄村に所在していた縁により、支援活動をはじめており、社員の有志約100名が参加しています。社員とその家族が地元農家の方々と交流しながら、春の田植え、夏の草とり、秋の稲刈り等の作業を体験しています。こうした活動を通じて、天栄村に対する理解を深めるとともに、会社と個人が一体となって、天栄村から福島復興を応援しています。



稲刈りの参加者たち

## 難病患者と家族の支援

東京建物が所有する賃貸マンション「アパートメンツタワー勝どき」は、子育て支援と地域の共生をテーマとしたマンションです。建物内に、認定こども園やファミリーハウス、小児科クリニック、子育て世代向け住宅等があります。ファミリーハウスとは、小児がん等の難病治療のために遠方から大都市の病院に来ている子どもと介護する家族に、滞在施設として使っていただく「もうひとつの我が家」のことであり、認定NPO法人※ファミリーハウスが運営しています。東京建物はこの活動に共感し、国立がん研究センター中央病院と聖路加国際病院に近い「アパートメンツタワー勝どき」に、和洋室2部屋と共用室を備えた130m<sup>2</sup>のハウスを設け、無償で提供しています。

※認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)とは、団体への寄付を促す税制上の優遇措置を受けられる団体。認証制度によるNPO法人は申請のみで設立可能だが、認定を受けるには一定の活動期間と所轄庁による調査に合格する必要がある。



2家族がゆったり過ごせる共用室

## 西日本豪雨の被害に対する義援金拠出

東京建物グループは、2018年7月に発生した西日本を中心とした豪雨(平成30年7月豪雨)による甚大な被害からの復

興支援のために、義援金500万円を日本赤十字社を通じて寄付しました。

## アートと組み合わせた募金活動

「SMARK(スマーク)伊勢崎」では、2018年の開業10周年のリニューアルに合わせて、地域への貢献を念頭に新たな社会貢献活動を、アートと組み合わせて開始しました。アーティスト長谷川仁氏による上毛三山(群馬県内にある赤城山・榛名山・妙義山)を象ったコミュニケーションアート募金箱「coins」を1階に設置。集まった募金は、毎年11月に行う周年祭の都度、群馬県内の自然環境保護団体へ寄付することにしています。



coinsみょうぎ(左上)  
coinsはるな(右上)  
coinsあかぎ(左下)